



鹿骨東小学校



鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

地域や伝統文化から日本の心を学ぶ

鹿骨東小学校 校長 中田 伸代

6月の運動会には大勢の地域・保護者の皆様にご来校いただきました。沢山の感想も頂きました。ありがとうございました。励ましの言葉に教職員一同元気を頂きました。様々なご助言も今後に生かしてまいります。

さて、運動会が終わった6月、本校のふるさと学習が1年生からスタートしました。江戸川園から朝顔名人の先生に来ていただき、朝顔の秘密やつるの巻き方などについて丁寧に教えていただきました。朝顔の栽培は鹿骨で江戸時代から続いているそうです。鹿骨地域にはお花農家や小松菜農家など伝統的な産業が現在も継続されています。子供たちは1年生の朝顔に始まり、2年生の花の寄せ植えや野菜作り、3年生の小松菜農家見学やヤゴやアゲハの飼育等、生き物自然を大切にすることを低学年のうちから学んでいます。生き物を大切に育てる気持は命を大切にすることにもつながります。これからもずっと大切にしていきたいと思えます。

また、本校は本物に触れる文化芸術の体験活動も多く取り入れています。先週は大蔵流の狂言師の皆様にも月曜日と金曜日の2回ご来校いただき、4～6年生が本物の狂言のワークショップとご公演を生で体験しました。大蔵流の狂言は今から600年以上前、室町時代に確立され、信長、秀吉、家康等の著名な武将にも愛好され、徳川幕府によって江戸で保護されてきた歴史を持ちます。当時のままの形で現存する演劇の中で、世界最古の物でもあります。子供たちは礼の仕方や能や狂言の歴史やお話のストーリーなどを教えていただき、6年生の代表児童は実際に演者さんと一緒に舞台上に立ちました。演者さんからは「最近では海外の方のほうが日本文化に感心があり、良く学んでいらっしゃる。日本の子供たちにもっと日本について知って欲しい。」というお話がありました。武士の時代。明日は生きているかも分からない世界で、庶民の日常を捉えて、笑いを交えて演じた狂言。そこには現代に通じるユーモアと、色あせない人の営みや想いが感じられます。外国語を学ぶことが国際理解教育なのではなく、日本文化や日本の歴史や自然など「日本のよさや日本人の心」を語れる子供たちになって欲しいものです。今年度は能や落語の体験活動も予定しています。子供たちとともに「日本人の心」を学んでまいります。

1学期も残りわずかになりました。教育活動へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。今年度から1学期のあゆみの総合所見をなくし、全学年7月に個人面談を行います。そこでお子さんの様子をお伝えしたいと思います。いよいよ暑さも本格的になります。皆様、体調管理や交通事故などにご留意され、ご家族で良い夏休みをお過ごし下さい。

6年生が行った、「ガザ人道危機緊急募金」の集計結果は **52,593円** でした。

ユニセフを通して、ガザに届けたいと思います。ご協力ありがとうございました。



